

俳句をたのしむ —京都の四季と俳句—

俳句は日本古来からある伝統文化のひとつです。五・七・五のたった十七文字という制限はありますが、むずかしく捉えずに、まずは 心に浮かんだ素直な気持ちを素直に書いてください。

この講座では、俳句の歴史、ルール、俳句の作法、及び俳句における「切れ字」の意義などを中心に分かりやすく、講義します。

今回は、秋の季語である「月」をテーマに実作実践して、俳句を体感していただきます。当日に「月」に関する作品を2作品発表していただき、丁寧に講義、選評いたします。京都の秋の気配を豊かなこころで感じとっていただけると嬉しいです。

講師：大森健司

プロフィール

1976年京都市生まれ。同志社大学文学部卒業。

角川源義、角川春樹の主宰する俳句結社「河」に入会、師事。その間に結社賞である、「河」新人賞・角川春樹賞・「河」賞受賞。

第1回俳句現代賞、日本一行詩大賞新人賞等、多数受賞。

2006年、俳句結社「森」設立、及び主宰。京都を中心に句座の文芸の楽しさを広め、後進の指導にあたる。又、言葉のもつ瞬発力、イメージを明確にするコンサルティングを、各種企業、団体に行っている。

京都市芸術文化協会会員。京都国際文化協会会員。俳人協会会員。

代表句集に『あるべきものが、、、』。

日時： ① 2018年9月17日(月祝)

② 2018年9月23日(日) ②は、①の続きです。

午後2時～4時(受付 午後1時半～)

場所：京都市国際交流会館3階研修室(京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

京都市営地下鉄東西線 蹴上駅下車徒歩5分

費用：各回1,000円(KICA会員無料) 定員：40人

主催：一般財団法人 京都国際文化協会

お問い合わせ・お申込み：(一財)京都国際文化協会

Tel) 075-751-8958 Mail) kica@kicainc.jp URL) <http://kicainc.jp/>